

令和七年度公立高等学校入学選抜 後期選抜 学力検査問題 国語 正答・正答例及び評価基準

※ 字数制限のあるものは、句読点、カギ括弧等も一字に数え、字数制限に従って書いているもののみを評価の対象とする。ただし、「正答または正答例」の欄に(例)と示されている小問で、文中、または最後の「マス」に文字と句読点が一緒に書かれていて総字数が制限を超えている場合は、句読点の誤りとみなし、小問ごとに全体で一点減点とする。

※ 漢字の表記については、手書きの楷書と認められる範囲内における形のくずれは問わない。

※ 「正答または正答例」の欄に(例)と示されている小問の誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等については、小問ごとに全体で一点減点とする。それ以外のものについては、問三を除き、誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等それぞれ一か所につき一点の減点とする。

問題番号	問題		正答または正答例	小問	配点	評価上の留意事項
	大問	小問				
一	(1)	A	エ	各1	2	
		B	ウ			
	(2)	A	エ	2	2	
		B	ウ			
	(3)	A	エ	3	3	
		B	ウ			
	(4)	A	エ	4	4	
		B	ウ			
	(5)	A	エ	3	3	
		B	ウ			
	(6)	A	エ	8	8	
		B	ウ			
二	(1)	A	ア	3	3	
		B	エ			
	(2)	A	ア	3	3	
		B	エ			
	(3)	A	ア	3	3	
		B	エ			
	(4)	A	ア	3	3	
		B	エ			
	(5)	A	ア	6	6	
		B	エ			
三	(1)	A	① 誤階 正快 ② 誤痛 正傷 ③ 誤側 正測	各3	9	三は、 <u>誤</u> のみ正答の場合は一点、 <u>誤</u> と <u>正</u> ともに正答の場合は三点とする。
		B	① あらわし ② めずらしく			
	(2)	A	(例)手紙がすばらしいということ。(十三字)	3	3	(2)は、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。「手紙」を「文」と記述しても正答とする。
		B	(例)わずか十五行の短い手紙で、どの行にも帰郷を促す言葉だけが書かれている。(三十五字)			
	(3)	A	五言絶句	2	2	(5) ii については、 ・(a)(b)を満たし、二十五字以上三十五字以内で解答しているものを正答とする。 (a)短い手紙であることを表現している。 (b)帰郷を促す言葉だけが書かれていることを表現している。
		B	はるかなる			
	(4)	A	はるかなる	2	2	・二十五字以上三十五字以内で書かれているものうち、(a)(b)のいずれかのみ満たして解答しているものは三点とする。
		B	(例)わずか十五行の短い手紙で、どの行にも帰郷を促す言葉だけが書かれている。(三十五字)			
	(5)	A	ウ	2	2	
		B	オ			
五	(1)	A	ア	3	3	
		B	エ			
	(2)	A	ア	3	3	
		B	エ			
	(3)	A	ア	4	4	
		B	エ			
	(4)	A	ア	3	3	
		B	エ			
	(5)	A	ア	3	3	
		B	エ			
	(6)	A	ア	8	8	(6)については、 ・条件を満たし、六十五字以上八十五字以内で解答しているものを正答とする。 ・条件を満たすものとは、次の(a)～(c)を満たすものとする。 (a)――線部②として、「ケーキを作った記憶がふとよみがえって」のように、「精神の奥深く刻み込まれた記憶のよみがえり」の具体的な例が書かれている。 (b)「よみがえり」と同等の内容が書かれている。 (4)については、 ・(a)(b)を満たしているものを正答とする。 (a)「精神の奥深く刻み込まれた記憶」と同等の内容、または具体的な内容が書かれている。 (b)「よみがえり」と同等の内容が書かれている。
		B	エ			